

三洋電機健保

# 安八の体育施設売却へ

## 岐阜の体操クが拠点に

三洋電機連合健康保険組合(大阪府守口市)が、安八町氷取に所有する三洋電機岐阜スポーツセンターの体育館などを売却することが分かった。購入するのは、岐阜市や大垣市などで体操教室を展開するNPO法人総合体操クラブ(岐阜市今町)。関係者によると、今週中にも正式に売買契約を結ぶ予定で、センターは二月十五日で閉鎖する。(中根真依)

体操クラブは施設購入後、体操や新体操の設備を導入し、安八町で初の総合型地域スポーツクラブの拠点として、三月中のプレオープンを目指す。

体操クラブは現在、

総合型地域スポーツクラブの認定を受け、岐阜市を拠点に活動しているが、これまで使用していた旧岐阜藍川高校体育館の使用期限が迫り、新たな施設を探していた。新施設では

体づくりからオリンピック選手育成まで幅広いレベルでの運営を目指し、五月の連休前の本格オープンを予定している。



三洋電機連合健保組合が売却を予定している岐阜スポーツセンターの体育館。右はソーラーアーク=安八町氷取で

岐阜スポーツセンターはパナソニックの「ソーラーアーク」の西側にあり、体育館、プール、テニスコートなどから成る。現在は外部利用者に貸すのが中心。体操クラブによると、購入するのは体育館がある北側で、テニスコートを駐車場にし、西の道路側に新たに入り口を設ける。

同クラブの臼井俊範監督は「県内には行政の体操専用体育館がなく、民間の体育館も少ないため、新築せずに拠点を設けられるのは